

2015年 8月28日 発行：島根民医連 医系学生サポートセンター
〒693-0024 出雲市塩冶神前1-6-2

Tel:0853-21-3360 Email:bunsitu@bronze.ocn.ne.jp

臨床現場で学ぼう！

◎奨学生の夏季実習◎

松江3名 出雲1名 斐川1名 受け入れ！



島根民医連の夏季奨学生実習を松江生協病院・出雲市民病院・斐川生協病院の3病院でそれぞれ実施しました。今回は低学年の奨学生を対象に、普段の授業ではなかなか出ることのできない臨床の場での実習を行いました。特に1年生は、医学の勉強をする機会があまりない中で、今回のような実習はモチベーションアップにつながったようです。2年生は半期の解剖実習を終え、その知識を再確認するという意味でも有意義な実習となりました。松江では、ランチョンカンファや抄読会など、研修医が実際に行っている研修の一部を見てもらえ、将来、自分が研修をしていく上でのイメージをつかんでもらうことができました。また、どの学生も縫合やグラム染色、救急車同乗など、実際に体を使って体験する実習が特に印象に残ったようで、今後の実習でも体験型のものを多く取り入れていこうと思いました。出雲の実習では、外来見学や家庭医療レクチャーなど、医師がどのように患者さんと接しているかを学ぶことのできる実習でした。先生からは学生のうちは30分かってでもいいから、患者さんの話をよく聞くということを心掛けてほしいとアドバイスをいただきました。斐川の実習は、往診同行や組合員さんの保険大学卒業式など患者さんや組合員さんと距離の近い関わりができる実習となりました。学生も改めて地域医療の必要性を感じ、将来のビジョンを再確認することができたようです。

今後も定期的に実習を実施して、患者さんとの関わり方や医師としての心構えを学んだり、先生方や病院のスタッフとも交流を深めてもらいたいと思います。

◎学生の感想◎

- 普段の学習の姿勢として「なぜ??」ということをおまひ考へることなくただ体の構造の暗鬼に走っていたと感じた。これからの学習では「なぜこうなるのか?」ということをお常に意識して勉強していきたいと思った
- 研修医の内頸カテーテル留置も見学することができ1年目の研修医の様子をすることができた。手術見学では、事前に詳しくレクチャーをしてもらった後に見学だったのですごく勉強になった
- 今回は初めて大きな病院で実習させていただき、様々な診療科の先生が連携して総合的に診療されておられるのが印象的だった